



平成 24 年 8 月 17 日 第 2 卷(第 19 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

●●●目次

- 1.災害対策本部からのお知らせ
- 2.現地支援活動報告
- 3.現地感想文
- 4.事務所感想文



群馬県上野村

●●●災害対策本部からのお知らせ

【1.協力員募集】

●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受入を行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***9 月はまだあまり応募がありません。ご都合の付く方、ご協力をお願いいたします。

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1~2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部】

今回は 9 月 7 日(金) 19:00~協会事務所にて開催します。ご意見や検討事項がありましたら、9 月 3 日(月)までに災害対策本部まで電話やメールでお寄せください。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』
の販売を行っています。

発災から昨年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧ください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●●URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/ 公 社 日本医療社会福祉協会 - 災害対策本部 /156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんが VTR にまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●●URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。



●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週3日程度 10～17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所：〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

電話：03-5366-1057

担当：笹岡・中川

●●●現地支援活動報告

※今春4月23日～4月26日に活動された方から、先日、活動報告書が届きました。ご紹介いたします。

江口 美奈子(東京都 NTT 東日本関東病院)

被災から1年余りの石巻へ。桜の蕾がほころぶタイミングに、やっと訪れる事ができました。日本医療社会福祉協会の災害支援活動の現地活動支援協力員として、仮設住宅や在宅訪問、電話相談対応、地域連携活動等をしてきました。

それにしても、現地の復興は本当にまだまだで、まさに胸に迫る場面の連続でした。鉄筋の建物がサイコロみたいに転がっていたり・・・住宅の屋根の上にひっくり返った家屋が重なっていたり・・・電柱や鉄橋が飴みたいにねじ曲がっていたり・・・撤去しきれない瓦礫、車の山、山、山・・・。沢山の方が亡くなった病院や学校の跡・・・信じられないものが今でも、めちゃくちゃなまま放置されていました。

実際に見た瓦礫の山から、翌朝の新聞記事で遺骨が発見されたというニュースが載っていました。被災日付の葬式の新聞広告も目につきました。

私自身、とてつもない量の瓦礫の山を見ているうちに、モノを所有すること自体ばかりしくなったりもしました。何もかも跡形もなく流され、まるで考古学遺跡みたいに、市街や住宅街があったなんてとても信じられない、一面のさら地もありました。

津波の力ってすごい・・・想像を絶する光景にショックを受けました。そこで生きている人々の話も、すごい。(方言がきつく、聞き返しても何を言っているのかわからないこともあったけれども・・・)

ここまで水がきた、家族のご遺体の話、避難所生活のサバイバル体験など基本的に相談内容は、病院のケースと変わりませんが、被災者、仮設ならではの問題もあります。

対面して現地の方々の心配事を傾聴してしまうと、彼らのこれからは心配になってしまいます。

しかし、一瞬にして大切な人やモノをいっぺんになくした時の気持ちを語っておられた皆さん、同時にとても優しく、温かかったのが印象的です。石巻の文化でしょうか？

一期一会。被災された方々のところと生活を支えること。まちづくりはまったくこれから。対人援助職として私にできることは本当に僅かかもしれない。長い道のりのほんの一瞬かもしれないけれど、支援を繋いでゆけたらという思いを強く抱きました。

●●●現地感想文

●●●8/6 久保木美由紀(現地担当)

先日石巻市内を歩いていたら、「津波襲来」の石柱が街中にありました。翌日の新聞にその石柱が7か所設置されていることがわかりました。津波の記憶を忘れないこと、意識が高まることを期待して建てられたそうです。本日訪問したお宅2件とも、防災用品を準備し、避難経路、避難場所の確認を家族で話し合っていたから、被害が最小限に抑えられたとのお話を伺いました。日常的に災害を意識し、準備をしておくことが重要だと感じました。

●●●8/7 久保木美由紀(現地担当)

仙台の七夕が有名ですが、石巻にも吹き流しや短冊が商店街に短冊には「復興」、「石巻がんばれ」の文字が書かれていました。市民や支えようとする方々の願いがきつと届くと思います。

●●●8/9 依光則子(現地担当)

先日の川開き祭りは石巻最大のお祭り、この日は家庭も会社もお祭り対応で、終わるとみな気が抜けてしまうそう。訪問先のお宅からもそんな声。これからが夏本番なのに...?とっていたら、お盆過ぎの石巻はもう秋風が吹き始めるとか。土地には土地の気候があり、生活サイクルがあるんですね。

●●●8/10 中辻康博(現地担当)

神奈川からお越しの協力員の方々は本日も河北地区のアセスメント調査同行訪問を行っています。協議会自体も夏休みモードですが、今できることをしっかり行っていきたいと思います。

●●●8/10 井田茂樹(神奈川病院)

8月9日午後に引き続き、1日調査隊に同行させていただきました。今回の訪問地域は、大川小学校の近くということもあり、まだ辛い状況にある方たちもいらっしゃいました。同じ石巻市といっても、地域によって被災状況が異なっていることから、復興にむけた気持ちの違いを感じることができました。

●●●8/11 高木愛子(横浜市立大学附属病院)

アセスメント調査に同行し、大規模損壊に合われた方、家族を亡くされた方から沢山お話を伺いました。正直どう声をおかけしたらいいか言葉を失いましたが、皆さん温かく迎えて下さりパワーを頂きました。本日が最終日。また石巻市に伺いたいです。

●●●事務所感想文

長年災害支援ニュースを編集して下さった国立病院機構沼田病院の小淵さん、大変お疲れさまでした。また、引き継いで頂いた前橋赤十字病院の鈴木さん、これからもよろしくお願いいたします。

ホームページアップに四苦八苦している事務所ボランティアより...

国立病院機構西群馬病院 尾方仁

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース

平成 24 年 8 月 17 日 第 2 卷 19 号